

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

部会・プロジェクト名 地域生活支援拠点等事業検討プロジェクト	開催日：令和 3年 10月 1日（金） 時 間： 10:00 ～ 11:00 場 所：Zoom によるオンライン会議
参加者構成機関名 松本市（欠）、安曇野市、塩尻市、基幹相談支援センター、主任相談支援専門員（信濃友愛会）、空床確保事業所（穂高悠生寮）、ひとり暮らし体験事業（ハートラインまつもと）	
次第 ① 空床確保事業所について ② 台帳整備について ③ ひとり暮らし体験事業 ④ その他	

会議内容

① 空床確保事業所について

・【プロジェクトリーダーより報告】今年度下半期受け入れについての各事業所アンケートを実施したところ、感染レベル5以上における受け入れ可能事業所は1か所のみであった。9月3日開催の市町村部会において検討の結果、今年度下半期も事業の実施は行わないことになり、その旨各事業所へ通知文を出す予定。

・本事業の要綱等は、コロナ禍以前に作成したものであるため、今後感染症対策を含めた事業内容の変更を進める。そのために、どのような方法であれば実施可能かを、受託の5法人と相談を行う事を決める。

・なお、各市村は来年度の事業費について、現行の内容で予算確保を行う。

② 台帳整備について

・安曇野市…今年度中にA1のサービス利用のない方に通知文の送付を実施。

・松本市…今年度中に台帳対象者の抽出の実施。通知文送付は来年度中に実施予定。

・その他6市村は、上記の2市の進捗に合わせていく。

③ ひとり暮らし体験事業について

・令和3年度4～9月の実施状況報告

コロナ感染対策を行いながら実施した。

4月：2泊3日利用×2名、見学1名

5月：11泊12日利用×1名

6月：3泊4日利用×3回×1名

7月：2泊3日利用×1名、4泊5日利用×1名、見学1名

8月：なし

9月：13泊14日利用×1名 見学1名

⇒ ひとり暮らしに移行した方：3名（昨年度は1名）

・利用者は松本市、塩尻市、山形村の方、見学者には筑北村の方がいた。安曇野市の方からは相談があり、検討いただいたがつながらなかった。

・体験利用後に県外でひとり暮らしを開始された方も実績とすることを確認した。

④ その他

次回のプロジェクト会議前に、空床確保事業所の皆さんと受け入れするための条件等について会議を持つ。日程調整は事務局が実施。

次回 開催日時：令和 年 月 日 : ~ :